

図書館の動き

商議会等の開催

平成5年度第1回の附属図書館商議会が、7月28日に開催されました。昨年度の決算および今年度の予算案、本年度の各種図書購入計画、選書委員の分担等について協議されました。

また、商議会終了後、選書分担商議員会議、自然科学系選書分担商議員会議が開催され、今年度の学生用図書の選定作業や自然科学系外国雑誌の次年度購入タイトルなどについて協議されました。また、文系4部局の書庫問題についての商議員の懇談会も開かれました。

次期電子計算機システムの決定

附属図書館に設置される中型電子計算機の新しい機種が7月28日に決まりました。主記憶は60MB、磁気ディスク容量は25GB、端末台数は121台となっており、UNIXワークステーションからOPAC（利用者用オンライン目録検索）へアクセスすることなども可能となります。新システムの稼働は来年の1月中旬の予定です。

新規採用職員の館内研修

本年度附属図書館（中央図書館）で新規採用された職員の館内研修が、8月16日から8月27日まで行われました。対象者は図書館勤務経験者を除く2名で、それぞれ他課の掛業務を実習しました。

京都大学百年史の編集

本学は、明治30（1897）年の創設以来、平成9（1997）年で百周年を迎えます。これを記念して京都大学百年史の出版が計画され、附属図書館長を委員長とする百年史編集委員会が設置されています。附属図書館4階には編集史料室が開設され、専任の教官1名と本館総務課の専

門員が編集事務を担当しています。

百年史は、総説編1冊、部局史編3冊、資料編3冊の計7冊（1冊あたり約1000頁）で構成される予定です。現在、各部局に部局史編の原稿の執筆を依頼しており、来年の9月までにはその原稿が提出されて来る予定です。

自己点検・評価実行委員会の開催

本学では自己点検、自己評価を行うため平成5年2月23日から「京都大学自己点検・評価実施規程」が施行され、これを実施するための実行委員会（第1回）が5月18日に開催されました。

実施項目は「大学・部局の理念、現状等」、「教育活動」、「研究活動」など11に大別されており、それぞれが全学レベルと部局レベルに分かれています。附属図書館は、9番目の「学術情報」の全学レベルに含まれています。「学術情報」を担当する委員は、教官2名と附属図書館事務部長の計3名となっています。報告書の刊行は来年3月の予定です。

目録業務システム専門委員会の設置

6月に徳島市で開催された国立大学図書館協議会総会で、これからの図書館情報システムを検討するための特別委員会が設置されました。この特別委員会のもとには、具体的な事項について検討を行うため下記の専門委員会が設置され、目録関係について本学が主査を担当することになりました。

- 次期図書館システム専門委員会（主査：東京大学）
- ILLシステム専門委員会（主査：大阪大学）
- 目録業務システム専門委員会（主査：京都大学）

目次

<巻頭記事>

大型コレクション「アメリカ合衆国最高裁判所事件記録
および趣意書集成 第1部 1832-1915年」について… 1

<お知らせ>

新聞ラウンジに禁煙コーナーができました …… 4
新規登録図書の冊子体目録ができました …… 4
展示会を開催します …… 4

<資料紹介>

平成3年度および4年度に購入された
特別図書、学生用図書（高額図書）

を紹介します …… 5

<図書館の動き>

商議会等の開催 …… 8
次期電子計算機システムの決定 …… 8
新規採用職員の館内研修 …… 8
京都大学百年史の編集 …… 8
自己点検・評価実行委員会の開催 …… 8
目録業務システム専門委員会の設置 …… 8

<その他>

ご存知ですか？—文献の集め方— …… 2

後記

京大には、本部キャンパスから離れて数多くの施設がある。宇治地区もその1つであり、理工系を中心とした研究所群のキャンパスである。緑が多く車が少ないので、本部キャンパスからみると別天地に思える。それでも昔に比べると、自然は少なくなっただけ。以前はしじみ

がとれたり、きじがいたりしたそう。赴任してはじめて宇治地区が大きいことを知った。離れていると静脩をはじめ広報等が楽しみである。その編集にたずさわるようになった。（じ）